

第12回 シリーズ「地域と産業」講演会

尼崎の製造業－ 新しいモノを生み出す力こそ発展の道

開催趣旨

尼崎製造業は1980年ごろをピークに事業所数が次第に減少してきました(従業者数は1970年ごろがピーク)。また、韓国・中国をはじめとするアジア諸国の台頭と市場の拡大など、世界経済のグローバル化による国内生産拠点の流出といった大きなうねりの中にあります。そして、リーマンショック以降の景気低迷の中で、東日本大震災、欧州金融不安、円高、原油・原材料高などによって、さらに厳しい状況に置かれています。

このまま尼崎製造業が衰退の一途をたどるのでしょうか。厳しい世界経済状況のなかで生き残り、さらに発展的に継続していく鍵は、尼崎の製造業がもつ強みを伸ばす、あるいは新製品・新技術の開発による新たな強みを創り出すことにあるでしょう。そして、そういった強みをもつ企業が発展していく仕組みが必要だと考えられます。これらのことを念頭に、尼崎製造業が発展的に持続していく道を探ります。

プログラム

基調講演 「地域（企業）イノベーション力の発揮」

林 敏彦氏（同志社大学大学院 総合政策科学研究科 教授
一般財団法人 アジア太平洋研究所 研究統括）

報告 「尼崎製造業の強みと新技術・新製品の開発に関する実態調査」

井上 智之（公益財団法人 尼崎地域産業活性化機構 事業課係長）

パネルディスカッション 「尼崎の製造業－新しいモノを生み出す力こそ 発展の道」

コーディネーター

加藤 恵正氏（兵庫県立大学 政策科学研究所 教授）

パネリスト（50音順）

殖栗 成夫氏（一般財団法人 近畿高エネルギー加工技術研究所 研究部長
兼 ものづくり支援センター試作・開発支援部長）

齊藤 成人氏（株式会社日本政策投資銀行 関西支店 企画調査課長）

野田 秀夫氏（関西化学機械製作株式会社 代表取締役社長）

コメンテーター

林 敏彦氏（同志社大学大学院 総合政策科学研究科 教授）

日時：平成24年11月22日（木）

13時30分～16時30分

場所：尼崎市中小企業センター 1階ホール

主催：公益財団法人 尼崎地域産業活性化機構

【同時開催】展示

■第3回「産業のまち尼崎」写真コンテスト 入賞・入選作品

■第2回「あまがさきエコプロダクツグランプリ」受賞製品（尼崎市）